

教科	農業	科目	草花	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	E 草花専攻
使用教科書	草花(実教出版)			使用副教材等	視聴覚教材、実習記録簿				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、草花の生産と経営に必要な資質・能力の育成を目指す。草花の鉢物生産、苗物生産を通して、草花生産の特徴、栽培技術、草花が私たちの生活の中でどのような役割を果たしているか理解させるとともに、実習を通して植物の成長や変化に応じた栽培管理、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
評価の観点	知識・技能 草花に関する基本的な知識や技術を身に付け、課題解決に役立てることができる。また実習の中で得た知識や技術を実習記録簿を詳細に記入し、振り返りを行い、学びを深めていくことができる。	思考・判断・表現 草花の鉢物及び苗もの生産の計画と工程管理・評価および栽培の特性、管理に関する課題を解決し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	主体的に学習に取り組む態度 草花生産の計画と工程管理について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシート ・実習記録簿	・定期考査 ・実習状況の観察 ・ワークシート ・実習記録簿 ・実験レポート	・ワークシート ・実習記録簿 ・座学、実習時の観察 ・ループリック

担当者からのメッセージ	・座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 ・実習では特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。 ・座学および実習では、自ら行動し(自主性)、仲間と協力して(協働)、片付けまで集中して(責任感)取り組むようにしてください。 ・実習で学んだ内容は、実習記録簿に詳しく記入して期限に遅れないように出すことを心掛けてください。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準	
1	4 7	○授業オリエンテーション (授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを学ぶ)	(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度	
		第5章 鉢物生産 1 鉢物生産の特色(経営的、栽培管理の特色) 2 鉢物の生産資材と商品化技術 3 鉢花(シクラメン、インパチェンス、観葉植物、洋ラン等)	座学	実験・実習
		○春夏栽培用苗物生産 ・苗物の栽培管理 土づくり、鉢上げ、鉢替え、花壇整備、交流活動	・春まきの苗物生産の特徴を理解できている。(知) ・扱う草花の種類や特徴についてについて理解できている。(知)	・苗物生産で使用する土の特徴を理解し、土づくりで実践できている。(知) (思)(態) ・鉢上げ、鉢替えの作業の手順、注意点を理解し、正確に作業を行うことができる。(知)(態) ・効率よく作業ができるよう、周囲の状況を見て判断することができる。(思) ・主体的かつ協働的に作業に取り組むことができる。(態)
2	9 12	第4章 切り花生産 1 切り花生産の特色 2 切り花の品質保持 3 一・二年草の切り花(トルコギキョウ等) 4 宿根草の切り花(シュッコンカスミウ等) 5 球根の切り花(ユリ類、ダリア等) 6 花木の切り花	・切り花の経営的特色、栽培管理の特色について理解できている。(知) ・切り花の収穫・流通・販売における品質管理について理解できている。(知) ・高知県で栽培が盛んな切り花について、その特徴と栽培について理解できている。(知) ・切り花を使った地域貢献活動、交流活動について考えることができる。(思)(態)	・鉢物生産、苗物生産で使用する土づくりが実践できる。(思)(態) ・栽培しているシクラメンの品質向上に向けた栽培管理(葉組み)について、目的、作業手順を理解し正確に作業を行うことができる。(知)(思)(態) ・葉組みの方法を後輩に適切に指導できる。(知)(思)(態)
		○品種改良と繁殖 品種の重要性と品種改良の目的を理解する。 品種改良と繁殖のさまざまな方法を理解する。	・草花が観賞を目的にしているという点から、品種改良の重要性とその目的が理解できている。(知) ・品種改良の過程と方法について理解できている。(知) ・学校で栽培しているシクラメンの品種「はたのう紅」の歴史について理解できている(知)(思)	・シクラメンの交配の目的、方法を理解できている。(知) ・交配に使う蕾を正しく選び、処理できる。(思)(態) ・シクラメンの交配が正しく実践できている。(思)(態) ・交配作業を後輩へ適切に指導できる。(知)(思)(態)
3	1 3			